

1. 日米株式と円/ドルの推移



(注)チャートは過去1年

	単位	2016/12/30	2017/10/31	2017/11/10	過去3年高値		過去3年安値	
		(前年末)	(前月末)	(前週末)	水準	日付	水準	日付
日経平均	円	19,114.37	22,011.61	22,681.42	23,382.15	2017/11/9	14,864.01	2016/6/24
NYダウ	ドル	19,762.60	23,377.24	23,422.21	23,602.12	2017/11/7	15,370.33	2015/8/24
円/ドル	円	116.96	113.64	113.53	125.86	2015/6/5	99.02	2016/6/24

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場 先週の振り返り

~ 日経平均は一時1996年6月の戻り高値(22,666.80円)を上回り、23,382.15円をつける ~

先週の日本株市場は、週間ベースで日経平均が+142.30円(+0.63%)、TOPIXが+6.36ポイント(+0.35%)となり、日経平均は一時1996年6月の戻り高値(22,666.80円)を上回る23,382.15円をつけました。業種別(東証33業種)にみると、鉱業、石油・石炭製品、海運業など15業種が上昇する一方、ゴム製品、水産・農林業、非鉄金属など18業種が下落しました。

連休明け6日は、先々週末の米国株市場が上昇したことや円安ドル高が進んだことなどを受けて上昇して始まった後、引けにかけてはやや軟調な展開となりました。7日は、原油価格の上昇を受けて鉱業や石油等資源関連株が上昇したことなどから上昇基調を強める展開となり、日経平均は22,900円台にのせました。8日は、前日の米国株市場が米国上院の共和党指導部が法人税減税の実施時期を1年延長することを検討しているとの報道等を受けて下落したことなどから軟調に推移したものの、9日は前日の米国株市場が反発したことや前日の株価下落局面で日銀が717億円のETF(指数連動型上場投資信託受益権)の買入れを行ったことなどを受けて買い優勢の展開となり、日経平均は一時23,300円台にのせる展開となりました。しかしその後引けにかけては、円高ドル安が進んだことなどを受けて下落基調に転じ、結局前日比マイナス圏で引けました。週末10日も前日の乱高下を受けてやや警戒感が高まる中、小幅下落して引けました。

3. 今週の主な予定

日程	曜日	国・地域	項目	前回	前回	決算発表予定 他
11月13日	Mon	日本	国内企業物価指数(前年比)	10月	3.0%	日本 決算発表: 11/13 みずほフィナンシャルグループ、あおぞら銀行、ソニーフィナンシャルホールディングス、T&Dホールディングス 11/14 三菱UFJフィナンシャルグループ、三井住友フィナンシャルグループ、日本郵政、ゆうちょ銀行、かんぽ生命保険、第一生命ホールディングス、リクルートホールディングス、電通 11/17 東京海上ホールディングス、MS&ADインシュアランスグループホールディングス、SOMPOホールディングス
		アジア	ASEAN首脳会議(マニラ)			
11月14日	Tue	米国	PPI(生産者物価指数)(除食品・エネルギー/前年比)	10月	2.2%	海外 決算発表: 11/14 ホーム・デポ 11/15 シスコシステムズ、テンセント 11/16 ウォルマート・ストアーズ、ギャップ、アブライド・マテリアルズ、ベスト・バイ
		中国	鉱工業生産(前年比)	10月	6.6%	
11月15日	Wed	日本	GDP(国内総生産)速報値(年率/季調済/前期比)	7-9月期	2.5%	
		米国	GPI(消費者物価指数)(除食品・エネルギー/前年比)	10月	1.7%	
11月16日	Thu	米国	ニューヨーク連銀製造業景況指数	11月	30.2	
			小売売上高(除自動車)(前月比)	10月	1.0%	
11月17日	Fri	米国	フィラデルフィア連銀製造業景況指数	11月	27.9	
		欧州	鉱工業生産(前月比)	10月	0.3%	
		米国	住宅着工件数	10月	1127千件	
		欧州	ドラッグEC総裁が講演(フランクフルト)			

※ 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場 今週の見通し

~ 高値圏で揉み合う展開 ~

今週の日本株市場は、①日経平均が1996年6月の戻り高値(22,666.80円)を上回ったことを受けて達成感があること、②先週末にかけて日米株市場とも乱高下する局面がみられたこと、③決算発表が終盤を迎えたことなどから、短期的な利益確定売り圧力が強まるとみえています。一方、④景気や企業業績の改善が続いていること、⑤日銀は8日と10日にETFの買入れを行っており、株価をサポートする姿勢に変化がないことなどから下値も限定的とみて、日経平均22,000円台半ばの高値圏で揉み合う展開を予想します。

その他の注目材料として、日本では終盤を迎える決算発表に加え、15日のGDP速報値、米国では14日のPPI、15日のCPIや小売売上高、中国では14日の鉱工業生産などが挙げられます。



朝日ライフ アセットマネジメント株式会社
Asahi Life Asset Management Co., Ltd.
URL: <http://www.alamco.jp>

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第301号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会

本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、当社といいます)が、投資の参考となる情報提供を目的として作成したもので、特定の商品に対する投資勧誘を意図するものではありません。本資料は当社が信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。資料中に記載されたグラフ、数値等は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。また、コメントについては作成日時点での判断であり、将来予告なく変わることがあります。最終的な投資決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。